

会 議 録 (1)

| | |
|-----------------------|--|
| 会 議 の 名 称 | 第2回市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 |
| 開 催 日 時 | 平成 28年1月14日(木) 午前9時30分 開会・午前11時30分 閉会 |
| 開 催 場 所 | 入間市市民会館 3階 8号室 |
| 議 長 | 佐々木陽一 委員長 |
| 出席委員(者)氏名 | 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 委員 木下登 佐々木陽一 佐藤将之 鈴木充士 |
| 欠席委員(者)氏名 | 山岡靖義 |
| 説明者の職氏名 | 企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸 |
| 会 議 次 第 (公開・非公開の別) | 1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 4 事例紹介 5 閉会 公 開 |
| 非 公 開 理 由 | なし |
| 傍 聴 者 数 | なし |
| 配 布 資 料 | 1 第2回市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 検討内容 2 市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 検討フロー 3 市庁舎の整備に求められる要素 検討シート 4 庁舎等の事例紹介 |
| 事務局職員職氏名 | 企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸 |
| 会議録作成方法 | 要点筆記 |

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 開会 (9:30)

2 委員長挨拶

3 議事

(1) 前回会議の振り返り

事務局から、第1回会議で議論した概要について説明し、資料1、資料2により今後の検討内容について、改めて確認した。

(2) 市役所、市民会館の整備に求められる要素について

事務局から、資料3の「検討シートについて概要」を説明し、市役所整備に求められる要素について意見交換を行った。

4 事例紹介

委員長から、市庁舎の耐震化事例(3事例)について紹介があった。

5 閉会 (11:30)

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| | (委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。) |
| 議長 | 3 (2) 「市役所、市民会館の整備に求められる要素」について事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 資料 3 「市庁舎に求められる要素」検討シートについて、事務局が説明。 |
| 議長 | それでは、事務局からの説明を踏まえ、市庁舎に求められる要素について意見交換を行いたい。 |
| 委員 | 市役所のあり方を考える上では、耐震問題に加えて、サービス、組織編制の方向性を明らかにしないと規模が検討しにくい。 |
| 事務局 | ご発言いただいた内容については、施設の規模を考える上で組織編制は必要な情報であると考えているが、現時点で方向性が決定していない。今後事務局が把握している範囲で示したい。 |
| 委員 | 組織や職場の配置などが決まっていると、市庁舎の中に集約できる機能や市庁舎の周辺に整備すべき施設を検討する上で考えやすいので、是非わかる範囲で示して欲しい。 |
| 委員 | 配布された資料を見て、考え方の整理が少しできてきた。今後中長期的なスパンでは、高齢者の割合が大きくなっていくことが予測されるが、施設整備についても将来を見越した対応が必要である。 |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 委員 | <p>第1回会議で、「インターネットの普及により、今後のサービスのあり方が変わるのではないか。」という意見が出ていたが、インターネットを介して手続きができてしまうことを考えると、市役所窓口では、これを使いこなせない高齢者に特化してサービスを展開するのも1つの考え方である。</p> |
| 委員 | <p>庁舎の整備方法には色々な考え方があると思うが、今ある施設が当たり前だと思ってしまいがちである。また、近隣の自治体と比較してしまいがちだが、これからは、各自治体が客観的な視点を持って整理をしていくことが重要である。</p> |
| 議長 | <p>後で事例紹介するが、志木市の場合、「志木らしさ」をコンセプトに掲げている。今だけではなく将来を見越して、「人間だからこうだ」というところまで整理できると、市民に対しても説明力が高まってくると思う。従って、この委員会でもこの部分を重要視していきたいと考える。</p> <p>次に、ランニングコストの縮減が大切ということも重要な要素であると思う。この要素に関しての意見があれば聞きたい。</p> |
| 委員 | <p>色々な設備をつければ、整備コストが上がることは承知している。一方、設置した設備が必要な時に機能するのであれば、コストがかかっても備えるべきであると思う。</p> <p>「安心・安全な市庁舎」ということで、災害時に市役所として最低限必要な機能やサービスが提供できるのであれば、高い設備であっても導入すべきではないか。従って、災害時に対応できる市庁舎ということを一つの方向性として考えるべきである。</p> <p>現在の庁舎は、A・B棟1階ホールが吹き抜けになっている。吹き抜け構造の建物を耐震補強すると多額の費用がかかると思う。今後の庁舎とし</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 委員 | <p>ては、火災警報器やスプリンクラーの設置とともに、非常通報設備や防犯カメラも必要ではないか。</p> <p>また、今後求められるセキュリティ機器や体制が、現行の庁舎で対応ができるかといった視点で考えていくべきである。</p> <p>現在の市庁舎でも、現状機能を維持することが前提であれば、バリアフリー化、再生可能エネルギーの活用などで対応できないことはないと思う。一方、庁舎に様々な機能を集約していくという考えであれば、既存庁舎の吹き抜けは空間として勿体ないとも思う。</p> <p>本日の会議では、市庁舎を中心に検討をしているが、コミュニティ施設を併設することも視野に入れているので、時代の流れを踏まえ、こうした機能を集約した方が良いのかという議論も合わせて行っていくことが重要である。この視点で議論し整理すれば、施設整備の方向性がおのずと出るのではないか。</p> |
| 委員 | <p>検討シートの項目を見ると、市庁舎単独で考えられる項目と他の機能と複合化することを前提にしたものと大きく2つに分けられる。この中で、まず市庁舎単独で考えて、なくてはならないこと「Must (マスト)」について議論して、それに加えて、市民交流について考えていくと良いのではないか。こうした意味では、防災（安全・安心）は外せないと思う。</p> <p>因みに、検討シートを作成するにあたり参考にしたものはあるのか。</p> |
| 委員 | <p>この議論をする上で、例えば「吹き抜けがダメ」という議論は、非常に危険である。吹き抜けにもメリット・デメリットがある。吹き抜けは、空調等の効率が悪いというデメリットがあっても、視野に入る部分範囲が増えることは、分かり易さという点でメリットである。今回議論すべきは、モノ（機能）が必要ということではなく、概念としての必要性の検討であ</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 議長 | <p>る。日産自動車では、デザインに「評価グリッド法」という手法を採用している。何が必要なのか、何のためにやっているのかという上位概念をここでは整理する必要がある。「現状」については、具体的な環境を述べる必要があるが、ここで重要なのは、何を求めていかななくてはならないのかをしっかりと議論することである。</p> <p>上位概念として、何のために建替えるのかを整理してハッキリさせておくことは重要なことである。会議後に事例紹介をするが、この部分をしっかり定めている自治体は、耐震化（事業）が前進しているようである。上位概念があつて、これらの項目（整備視点）がぶら下がっているとより分かり易い。市として、目的（コンセプト）をどう考えるか。</p> <p>市役所の耐震化というのは、公共施設マネジメントを進めていく中でも非常に大きな課題の1つであると思う。このタイミング（公共施設マネジメントを取り組み始めた段階）で耐震化を検討することは、ある意味チャンスでもある。これは、これまでの市役所とは違うということを示市民に見せていくことができ、今後の施設整備にも大きな影響力を持つと思う。</p> <p>単純な市庁舎の建替えに留まらず、例えば複合化などにより新しい価値を持たせるといことは公共施設マネジメントとしてのモデルケースとしても活用が可能である。こうしたことを踏まえ上位概念（コンセプト）を打ち出すことは必要であると思う。</p> |
| 委員 | <p>世界規模で課題となっている移民の例を挙げると、例えば、「外国人を受け入れるまちになる」というのも1つのコンセプトになる。そして、これを全ての公共施設に適用する（外さない）ということが大切である。これが決まれば、「整備視点」に掲げている事項の優先順位が決まってくる。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 議長 | 市民の視点で、コンセプトについて考えるものはあるか。 |
| 委員 | <p>1つの例であるが、藤沢公民館は（支所と公民館の複合施設）、比較的新しい施設ということもあるが非常に機能が良い。サークル活動も盛んであり、市民の利用も多い。この施設を建設した時のコンセプトは参考になるのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>これまで市では、多くの公共施設を整備してきたが、建設時に活用できる国の補助金や交付金のメニューに合わせて整備された施設が多い。公民館を建設する場合などは、地区住民による建設協議会が組織されるので、その中で施設整備についての意見は聞いたものと思われる。ただし、藤沢公民館の場合は、元々この場所に公民館と支所、職員住宅があり、土地区画整理の移転によって整備された経緯があることから、公民館と支所が複合化されたのではないか。また、建設時には市内各地区に図書館を1つずつ建設していくという政策があり、その流れの中で図書館も合わせて整備されたものと思われる。従って、この施設は、地区の拠点施設にするという考えよりも、既存施設の集約化（多機能化）という考えで整備されたものと推察される。</p> <p>事務局としては、前回会議を踏まえ今後の市役所について考えた場合に、単なるオフィスビルではなく、まちづくりの拠点としてコミュニティの中心であるべきであると考えている。今回示した「検討シート」は、こうした視点を踏まえてまとめたものである。</p> <p>これまで、公共施設を建設する際、施設のあり方から検討したケースはあまりないが、今後の施設整備（再整備）については、あり方から見直す必要があると考えている。</p> |
| 議長 | 事務局から出たキーワードを整理するとオフィスビルとしての庁舎機能 |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 委員 | <p>にまちづくりの拠点機能を盛り込みたいということが見えてきた。まちづくりの拠点というのは、コミュニティの拠点としていくことである。具体的なコミュニティの拠点については、今後どうしていききたいのか未だ見えていない部分があるが、これを案としてみてはどうか。</p> <p>コンセプトを検討する際に、本委員会の他に利用者（市民）の意見についても聞きたいところである。その手法として、ワークショップなどを今後取り入れていった方が良いと思う。</p> <p>今後の施設整備については、複合化がポイントになると思う。複合化は、単なるコスト削減だけではなく、機能集約によるプラスα（アルファ）に注目すべきである。例えば、市庁舎に図書館を併設し多機能化すれば人が集まるので、これを活用してコミュニティを作るという考え方もある。</p> <p>小平市と東大和市の行政界には足湯（運営：小平・村山・大和衛生組合）があり人気だが、この場で初めて出合った人同士がサークルを作っているようだ。こうした拠点ができるの良いのではないか。</p> |
| 議長 | <p>これからの施設整備については、まちづくりの拠点に軸足を置いて検討するのも良いのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>これまで、事務局内で意見交換した内容について参考に申し上げたい。市役所は、まず、来庁者にとって敷居が高いのではないかと感じる。特に市庁舎は、市民と接する場所（窓口等）が事務スペースと混在し、曖昧になっている。また、トイレや階段を含め市民からは使いやすい状態になっていない。さらに、セキュリティも甘く、どこにでも市民や業者が入って来ることができる。こうした状況にはこれで良いのかと疑問を感じる。</p> <p>今後市庁舎を整備する際は、オフィスと窓口、市民が活動できる場を区</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 議長 | <p>分して整備していく必要があるのではないか。近年庁舎を整備している自治体は、こうした点に配慮していることが見受けられるため参考にした</p> <p>い。</p> <p>本委員会でもいただいた意見を事務局内で議論していくうちに、市庁舎の課題として施設内に市民が集える場が必要ではないかということが見えてきた。第2回会議で、市庁舎について集中的に議論していただくと考えた理由は、最初に市役所の方向性を決めた方が、市民会館の方向性を決めやすいと考えたからである。</p> <p>本日、上位概念の整理は難しいと思うが、「整備視点」の中で必要な要素は、「オフィス機能の高い施設」、「安全・安心な施設」、「利用勝手のよい施設」というのは、大切な視点ではないか。</p> |
| 委員 | <p>市民の視点から見て、現在の事務室のレイアウト（カウンターに対し90度でデスクを配置）で困ることは、執務中の職員に声をかける点にある。市民が執務中の職員に声をかけにくい。市庁舎のレイアウトを考える上で、市民を気持ちよく迎える窓口づくりが必要である。</p> |
| 委員 | <p>市役所の窓口対応として、市民1人に対し複数の職員が対応すると圧迫感があり、話しにくいときがある。市民を迎える上で、「おもてなしの心」も大切である。</p> |
| 議長 | <p>委員の意見を踏まえると、現在の市庁舎は、オフィス機能は満たしているが、市民を迎える体制が不十分であるといえる。</p> |
| 委員 | <p>市庁舎に来て相談をする人は、若い人よりも高齢者が多いのではない</p> <p>か。これは、インターネットの普及により、若い人はパソコンやスマート</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 議長 | <p>フォンを使って必要な情報は収集できるからである。このことから、今後の庁舎は、窓口の高さを低くするなど高齢者に対応した施設整備が求められるのではないか。これは、「整備視点」の「誰もが利用しやすい施設」に通じる。</p> <p>「スケルトン・インフィル」を既存庁舎で導入することは難しい内容になるが、これを「利用勝手のよい施設」の項目に記述しておくべきか。</p> |
| 委員 | <p>オフィス機能に特化した施設であれば、スケルトン・インフィルを求めなくても良いかもしれないが、コミュニティ拠点がとなると必要になる場合もある。</p> |
| 議長 | <p>「安全・安心」と「地球にやさしい」という部分は、安全性能を向上させて同時に環境性能を向上させる（逆もあり）ということも可能ではないか。例えば、防災性を考えると蓄エネルギーも求められるということもある。</p> |
| 委員 | <p>市庁舎のような大型の施設に導入した場合、多額の費用がかかることも想定されるが、蓄電池や発電機はこれからの市庁舎に求められる機能でもあると思う。今後、関東で大地震が発生する確率は高いといわれているが、庁舎には防災本部や避難施設としての機能が求められていることから、これらの設備は必要ではないか。</p> <p>市内には、電気やガスなどの事業者団体が存在するが、こうした団体が必要性をアピールしていくことも重要と考える。</p> |
| 議長 | <p>現在の市庁舎の非常用電源等は十分なものか。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 委員 | <p>市庁舎にある発電機は稼働時間が30分程度である。また、蓄電設備はない。一方、これからの市庁舎には、既存設備の他に太陽光などの発電設備の他に発電状況や蓄電池の残量が表示されるモニターが必要ではないか。さらに、災害対策本部としては、〇〇水系のダム貯水量などライフラインの状況を一覧に示したモニターが必要ではないか。この考え方は、HEMS（ヘムス：ホーム・エレクトロニクス・マネジメント・システム）を参考にするとわかりやすい。</p> <p>こうした情報を市民に示すことで、市政に関心を持ってもらいやすくなる。</p> |
| 委員 | <p>ヨーロッパでは、市庁舎を長く使い続けている事例が多い。日本のように40年で建替えてしまうとすれば、良くない事例として扱われる。一方、検討を重ね長期的視点で見た場合、建替えにメリットがあればその方向に進むことにもなるが、古い建物の方が愛着がもてるということも考えられる。市民の愛着というのは、1つの概念にもつながると思う。</p> |
| 委員 | <p>ヨーロッパは、公共施設を長期間使用している事例が多いようだが、日本の公共施設に少ないのは、大地震が起こりやすい地域性と関係があるのではないか。大地震が起こり被害が出る度に、法改正などが行われ、建物に求められる水準が高くなるということについては、対応に費用がかかり苦慮する面もある。</p> <p>高度成長期に建設された建物やインフラは、老朽化が進んでいることは確かであり、今後人口が減少していくことは予測できるが、50年先がどういう社会になっているかは誰もわからない。一方、これからも大地震に対する備えが必要なことは変わらないと思う。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 委員 | <p>建設する際の概念として、基準ギリギリで設計するのが日本流であると思う。この考え方は、コストが第一であるということの表れである。従って、耐震基準が引き上げられると対応できないということになる。長く使い続けることを考えると、多少余裕をもたせ柔軟に対応できるようにしておく必要がある。</p> |
| 議長 | <p>長く使い続けられ、利用勝手の良い（変化に対応できる）施設ということになると、両者を兼ね備えるのは難しいようにも感じるがどうか。</p> |
| 委員 | <p>長く使い続けるということは、躯体をしっかり作るということになる。また、増減可能なシステムにするというのもキーワードである。例えば、減築しやすくするというのもこの考え方に当てはまる。</p> |
| 議長 | <p>市庁舎に求められるセミパブリックな部分についても意見をいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>市役所と市民をつなぐ手段として自治会がある。一方で、近年自治会加入率は低下している。例えば、市民が市報を受け取る際、自治会加入者は会を通して受け取っているが、未加入者には届かない。市民が自治会に加入することは自由なので、今後は未加入市民も同等のサービスが受けられるようにしておかなければならないと思う。</p> |
| 事務局 | <p>本日は、事前に示した9つの視点に加えて、新たな視点についてご意見をいただいた。次回までに意見の整理と合わせて、視点の整理を行いたい。</p> <p>今後、市庁舎整備については、次の視点で整備する必要があるということ整理してよいか。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|--|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・行政ありきということより、コミュニティの中にある市庁舎という考え方。 ・防災面、自治会、国際化ということを含めて、誰でも利用しやすい施設にするということ。 ・複合化や多機能化することで、利用する人が増えるということ。 <p>ただいま事務局が示した内容で、上位概念をもう少し整理して、施設の整備の方向性について次回話し合いたいと思う。</p> <p>本日の議論はここまでとする。活発な意見交換に感謝する。</p> <p>次回は、2月3日（水）午後1時30分に開催する。</p> |
| <p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成28年 3月 8日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>佐々木 陽一</u></p> | |

